

Summer 2025

発掘！発見！土の中にはロマンがいっぱい

もぐらの の はなし



富士宮市 埋蔵文化財センターだより

夏号

2025
Summer





発

最新は
滝戸遺跡

掘調査報告書が刊行！

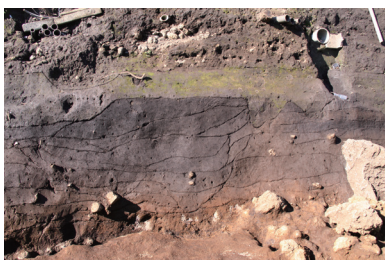


市内の遺跡で発掘調査が行なわれた場合、考古学の学術研究または埋蔵文化財の記録保存を目的として調査の結果・成果をまとめた「発掘調査報告書」を発行します。今号では、2025年3月に刊行された『滝戸遺跡Ⅲ 発掘調査報告書』ができるまでを紹介します。

1 考古学の専門家のもと まずは発掘！

滝戸遺跡は、第三中学校の敷地と重なる場所にあります。2021年度に、学校東側の擁壁改修工事に伴い、約150㎡の発掘調査を実施。約4カ月間に、縄文・弥生時代の土器や石器など大量の遺物が出土しました。どの地点からどの遺物が出土したかや、土層の様子なども記録します。

掘った穴の壁面。土層がどのように重なっているか確認し、この後それぞれの特徴を図に表す



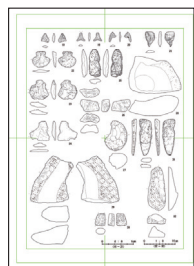
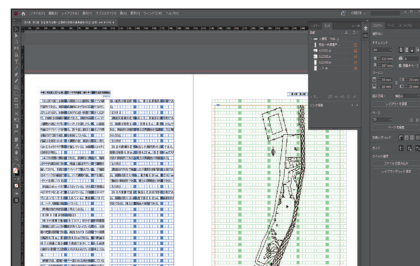
土の中から出てきた土器。割れないように慎重に掘り出していく



発掘調査現場（南側から撮影）

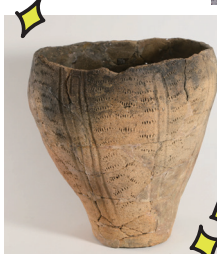
2 専門家や作業員が協力して データをまとめます

遺構や土層の状況を図にする、割れて出土した土器を石膏などで復元する、遺物の実測図を作成する、原稿を執筆するなど、発掘調査を終えたあとの作業も大切です。学芸員による分析や、作業員らの手仕事を地道に積み重ねて、報告書にまとめるのです。書籍の版組もパソコンで行なうため、作業室内ではさまざまなソフトが用いられています。



報告書の編集はおもにパソコンでの作業

こんな状態で
出てきたよ！



割れた破片を接合し、欠けた部分は石膏で埋めて復元



いい表情だね～！



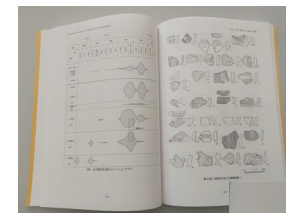
報告書に掲載する遺物の写真撮影も行なう

3 書籍ができた！ 貴重な遺物を整理・保管

歴史的・学術的に貴重な資料となる土器や石器は、大切に整理・保管をしています。報告書は、全国の自治体などに送付。研究者が報告書に掲載された資料を見学しに埋文センターを訪れることもあります。『滝戸遺跡の報告書』は、今年度中には図書館にも送られる予定です。



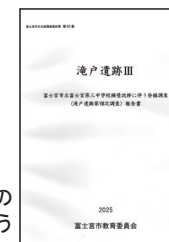
増え続ける貴重な資料。安全・適切に保管できる場所の確保が課題となっている



滝戸遺跡のことが丸ごと詰まった一冊



全国の研究者の参考にもしてもらう



誰かに話したくなる！ 考古学トリビアの壺

富士宮市の遺物が
“東博”に！？ ※東京国立博物館

市内安居山には、かつて別所一号墳という古墳がありました。この古墳は明治35年に発掘され、多くの金銅製の馬具や刀装具などが出土しました。これらの出土物は、東京上野にある東京国立博物館に保管され、一部は展示されています。



he~ he~
Bikkuri!
Shiranakatta!!

2025 夏号のプレゼントクイズ！ どの遺跡？

このたび報告書が刊行された滝戸遺跡は、第三中学校に位置しています。ほかにも市内には学校の敷地と重なる遺跡があります。次のうち、どれが学校と重なる遺跡でしょうか。

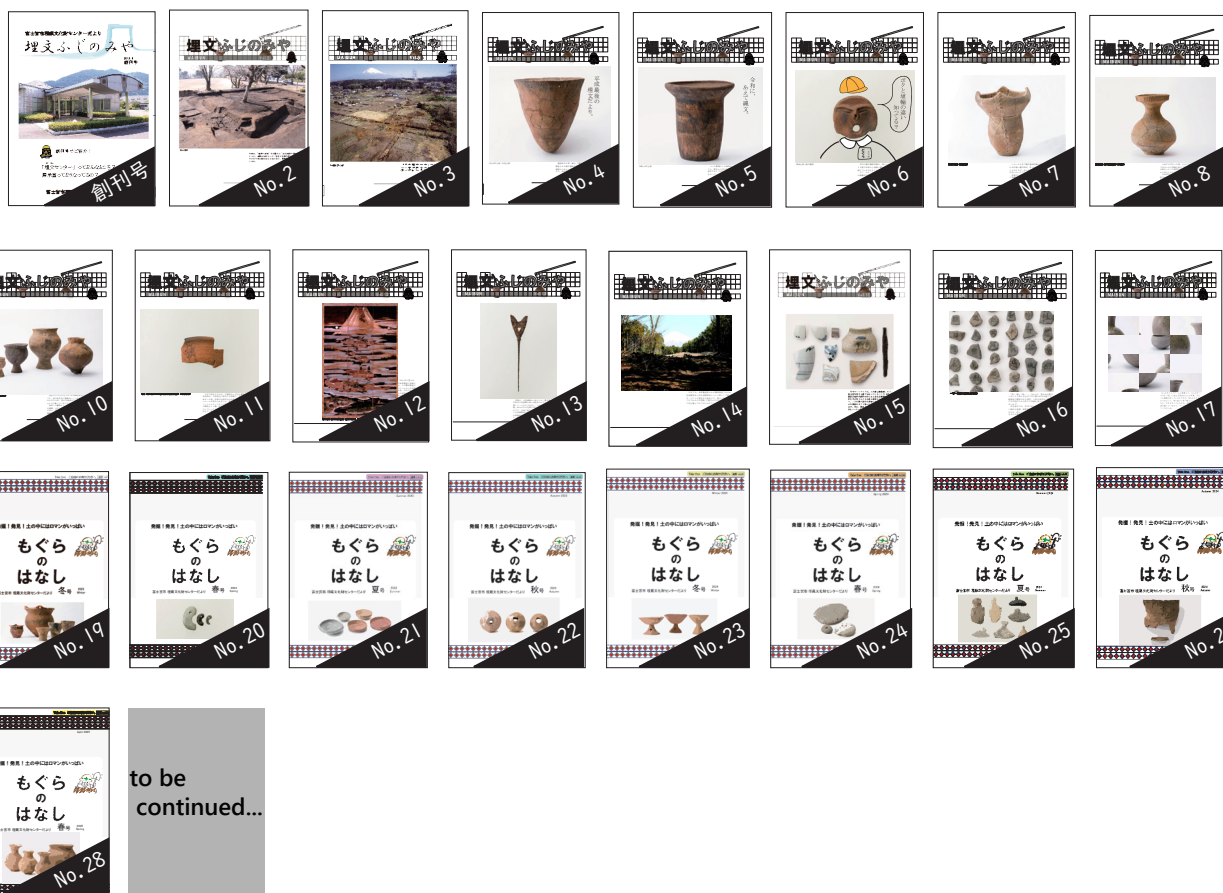


- おおしくぼ
a. 大鹿窪遺跡
しぶさわ
b. 渋沢遺跡
せんご
c. 千居遺跡

答えを職員に伝えて、ぜひ埋文グッズをゲットしてください。

バック ナンバー

既刊号は
富士宮市の HP で
公開中



富士宮市埋蔵文化財センター

所在地 〒419-0315 静岡県富士宮市長貫 747-1

電話 0544-65-5151

FAX 0544-65-2933

E-mail maibun_center@city.fujinomiya.lg.jp

展示室 平日

開館日 * 祝日及び年末年始（12月28日～1月3日）は休館

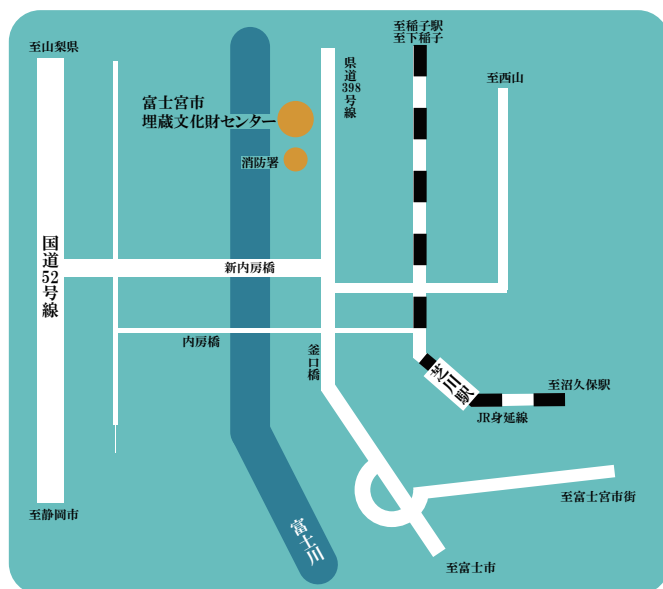
開館時間 9:00～17:00（入館は16:30まで）

* 埋蔵文化財センターの業務時間は8:30～17:15

見学料 無料

駐車場 あり（無料）

※詳細は HP でご確認ください



富士宮市埋蔵文化財センターだより

もぐらの はなし 夏号（通算 vol.29）

令和7年7月

編集／発行 富士宮市埋蔵文化財センター